さぬき動物愛護センター

しっぽの森通信

vol. 1

-contents-

1. しっぽの森通信について
2. 飼っている犬・猫を迷子にしないために
3. しっぽの森の犬・猫が新たな家族に出会うまで
4. 譲渡ボランティア活動報告
5. ～新しい家族を迎えて～ しっぽの森から譲渡した犬や猫たち
6. こんなイベントを開催しています

1. \ しっぽの森通信について /

香川県は、温暖な気候や無責任な餌やり行為などのため、他の県に比べ犬の収容数が多く、全国的に比較すると、殺処分数、殺処分率ともワースト上位に位置している状況が続いています。このような状況を踏まえ、人と動物との調和のとれた共生社会実現のための拠点施設として、香川県と高松市が共同で『さぬき動物愛護センター しっぽの森』を整備し、民間ボランティアの方や香川県獣医師会などと連携しながら、動物愛護管理の普及啓発や犬・猫の譲渡の推進をはじめ、人と動物に共通する感染症対策や災害時の動物対策に取り組むこととしました。

しっぽの森が開設し、本年度については 11 月末時点で、延べおよそ 13,000 人の方にご来場いただき、犬の譲渡に関しては 794 頭(前年同月 563 頭)、猫の譲渡数は 441 匹(前年同月 325 匹)と、順調にその数を伸ばすことができています。これも、多くの方に関心と理解をもっていただいたことや、譲渡ボランティアの方々の御協力があった結果だと思います。しっぽの森では、先日開催した『さぬき動物愛護センター 動物愛護フェスティバル』をはじめとした動物愛護啓発イベントや、その他、県内各地での行事や譲渡会の開催など、様々な取り組みを行っていきます。このしっぽの森通信では、このようなしっぽの森の取組みをご紹介していきたいと考えています。

6. \ こんなイベントを開催しています /

動物愛護フェスティバル

毎年９月２０日から９月２６日は、動物愛護週間に定められており、さぬき動物愛護センターでは、動物愛護週間関連行事を開催しています。今年度については、９月２２日(日)に「動物愛護フェスティバル」を開催しました。

当日は、雨天にも関わらず朝から大勢の方にご来場いただきました。特に、実際の診療室や手術室を利用した獣医師模擬体験やふれあいルームでの猫とのふれあい体験は順番待ちができるほど、大変人気でした。

また、ペットのケアについて日頃抱えている悩みを気軽に相談してもらうために設けた健康相談コーナーやトリミング相談コーナーでは、獣医師やトリマーらが、立ち寄った飼い主の質問を受けました。午後からは、穴吹動物看護カレッジ顧問の荒岡杉先生による講演が催されました。獣医師として、そして、飼い主として、様々な経験談を交えながら、家族の一員であるペットとの絆について、心温まる貴重なお話をいただきました。

その後、犬猫の譲り受けを希望される方を対象とした譲渡前講習と譲渡会を開催しました。犬７頭、猫２匹が新しい家族に出会い、後日しっぽの森を卒業していきました。

センターでの初開催でしたが、フェスティバルの来場者数はおよそ４６０名にのぼり、香川県獣医師会をはじめ、穴吹動物看護カレッジ、香川県及び高松市動物愛護推進員並びに譲渡ボランティアなど、多くの関係者に支えられ、無事に終えることができました。

その他にも下記のイベントを開催しています

たとえば…

- ４月～５月大型連休行事：迷子札作り＆動物愛護教室＆犬猫飼い方相談コーナー
- ５月：犬猫飼い方相談会
- ６月：譲渡犬パピー同窓会
- ６月：しっぽの森啓発セミナー「ペットとの暮らし～災害に備える～」
- ８月：夏休み！動物愛護親子教室
- ８月：猫の飼い方教室

編集後記

今回第１号となったこの「さぬき動物愛護センター しっぽの森通信」。今後もしっぽの森の情報や、ボランティアの皆さんの活動など、お知らせしていきたいと思います。また、しっぽの森はインスタグラムでも情報発信を行っています。譲渡動物やイベント情報の紹介など、タイムリーな話題をご紹介しますので、こちらもぜひご覧下さい（インスタグラムで「しっぽの森」で検索してください）。昨年３月の開所以来、収容動物はいつもいっぱいの状態の令和元年でした。令和 ２ 年は、少しでも収容される動物が減り、しっぽの森の動物にも新しい家族が早く見つかるよう、職員一同、ボランティアの方等と協力しながら、これまで以上に取り組んで行きたいと思います。(2020 年 1 月)

しっぽの森インスタグラムも更新中！
@sanuki_shipponomori

WEB サイト QR

さぬき動物愛護センター
しっぽの森
〒761-0446 香川県高松市東植田町1202-1
TEL 087-849-1011 FAX 087-849-1022

さぬき動物愛護センター しっぽの森 検索

2. 飼っている犬・猫を迷子にしないために

＼鑑札／

＼マイクロチップ／

しっぽの森では、イベントなどの際に迷子札づくりや、迷子札の配布を行っています。これは、ペットを飼ううえで、「所有明示を行うこと」がとても大切なことだから。『部屋の中で飼っているから大丈夫だろう』とか、『うちの子は迷子になってもすぐに帰ってくるはずだ』などと考えてはいませんか？いつも一緒のペットでも、思わぬ原因で迷子になってしまう場合があります。

例えば、「古くなった首輪や鎖が切れてしまった」「雷の音に驚いて、いきなり飛びだした」など。また、通常であれば迷子になってもおうちまで帰ってこられるペットでも、外でケガをして自力で帰ってこられないかもしれません。

また、地震などの自然災害が起こって、ペットと離ればなれになってしまうことも考えられるため、ペットに所有明示を行っておくことはとても大切なことです。例えば、迷子札を付けていれば、誰にでも飼い主が分かりやすく、ご近所の人が見つけて連れてきてくれるかもしれません。犬の場合、鑑札や、狂犬病予防注射済票をきちんと付けておくことで、登録先の市町を経由して飼い主がみつかる場合もあります。

しっぽの森では、譲渡前にマイクロチップを装着しています。情報を登録しておけば、保健所や動物病院でチップの情報を読み取ることで、飼い主がみつかる可能性が高くなります。

新しい飼い主になった方は、必ず情報を登録してください。

もしも動物がいなくなってしまったら…

まずは、今すぐ探し始めましょう！！いなくなった場所の近くから、犬や猫が隠れられそうな場所を探し、徐々に探す範囲を広げてください。その場合には、犬や猫の視点を念頭に置くと、思わぬ場所から見つかることもあります。そして、所管の保健所･警察署、市役所や町役場にも連絡しましょう。ペットの特徴を記載したポスターを掲示したり、情報誌に掲載することでたくさんの人に迷子の情報を知ってもらえます。（ポスターを掲示する場合は、管理者等の了解を取ったうえで行いましょう。）いざという時のために、他の人にもわかりやすいペットの特徴は何かを考えてみたり、写真を準備しておくことも大切です。

3. しっぽの森の犬・猫が新たな家族に出会うまで

しっぽの森の譲渡候補の犬・猫はみんな最初は保健所に収容された犬・猫です。（※しっぽの森では野良犬、野良猫を含む動物の保健所以外からの収容は行っていません。）

保健所に収容された犬・猫は、健康状態や人なれの状態などを確認したうえでしっぽの森に搬入します。しっぽの森では獣医師職員や、動物看護師・訓練士などの資格を持つケアスタッフによる健康管理や訓練を行い、新しい家族を探すことになります。

しっぽの森の犬･猫を新しい家族として迎えようとする場合、まず始めに、現在や過去の飼育歴、住居形態や家族構成など、譲渡した動物を適正に飼育できるかをお聞きします。つぎにしっぽの森の譲渡前講習を受講いただきます。それから譲渡会へ参加、マッチング（相性の確認）を行っていただきます。もし譲渡会でご希望の犬・猫がいなかった場合、講習受講から１年間は、譲渡会の時間以外でもしっぽの森でマッチング可能です。希望の犬・猫が譲渡決定となった場合は、改めてご家族と相談し、犬・猫を受け入れる準備をしていただいたうえで、後日お迎えに来ていただくことになります。

＼譲渡前講習会を受講／

＼マッチング／

＼新しい家族ができました／

新たに犬・猫を飼おうとお考えの方は、
是非しっぽの森の犬・猫を譲り受けることについてもご検討下さい。

4. 譲渡ボランティア活動報告

このコーナーでは、譲渡ボランティアの活動を紹介します。
今回は、NPO 法人アニマルスマイル香川さんにお話を聞きました。

私はケリ子、飼育放棄された過去があるけど、
今はシェルターでたくさんの仲間たちと
毎日楽しく暮らしているよ！

ブログ QR

こんにちは。
アニマルスマイル香川（ASK）です。私たちは、身寄りのない犬や猫たちを引き取り、保護施設（シェルター）を拠点に活動しています。活動を始めて今年で８年になります。
私たち、アニマルスマイル香川は、一匹でも多くの命を救って、温かいご飯を食べさせてあげたい・・一匹でも多くの子たちに温かい家族を見つけてあげたい・・・という思いで活動しています。犬の散歩出来るよ～という方、いらっしゃいませんか？昼間、車が空いているから犬たちを病院まで連れていけるよ～という方、いらっしゃいませんか？
少しでも構いません・・ご興味を持っていただける方、犬猫のために何かしたいとお考えの方、是非ともご連絡ください！シェルターでのボランティアさん、預かりボランティアさん募集しています。一緒に、犬や猫たちのために活動しましょう！

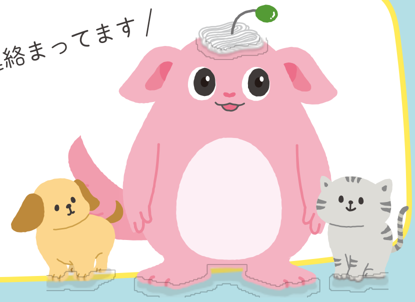
メール　tatoushiiku_kagawa@yahoo.co.jp
公式ブログ　https://ameblo.jp/tatoushiiku-sos/

譲渡ボランティアって …？

しっぽの森から犬・猫を譲り受け、人なれや、健康管理を行って
新しい家族探しを手伝ってくれている人達です。

「譲渡ボランティアをやってみたい」、
「自分の家庭環境や住宅で、譲渡ボランティア活動ができるだろうか？」など、
気になることがある方は、是非一度しっぽの森までお問い合わせください。

＼連絡まってます／



5. ～新しい家族を迎えて～ しっぽの森から譲渡した犬や猫たち

しっぽの森卒業生の新しい暮らしを紹介します。今回は Y さんとたまちゃんを紹介します。

Y さんは先代犬の看取りを終え、今回、新たな家族を迎えようと考えてしっぽの森に足を運びました。当初は成犬を希望されていましたが、譲渡会において触れ合ったり散歩をしたりするなか、「もなか」と出会い、ご夫婦で慎重に検討してもらった後、新しい家族として迎え入れていただきました。

先代犬から引き継ぎ、名前は「たまちゃん」になりました。

「たまちゃんは、毎日ぐんぐんと成長し、センターにいた時の倍の大きさになりました。家のなかでは元気いっぱいで、よく遊び、よく食べ、よく眠り、数日前から一緒に布団で眠るまでになりました。頭のいい子で、おトイレも失敗が少なくなり、食事の際の「マテ」もできるようになっています。ただ、お散歩だけは苦手です。目と耳だけ使って、肝心の犬の命ともいうべき鼻がぜんぜん使えていないようです。なんとか慣れさせようと頑張っていますが、まだまだ外で歩けません。先日は狂犬病のワクチンも無事に終了したので、今後はどんどんふれあいを増やしていこうと思います」

と話す Y さん。このまま順調に育ち、愛情をいっぱいもらって幸せに暮らしてね。

そしてまたみなさんでしっぽの森に遊びに来て下さい。

＼しっぽの森時代／

たまちゃんになりました！

しっぽの森卒業生の新しい暮らしを紹介していきます。
皆様からのお便りもお待ちしています。